

開発事業者の皆様へ



令和9年4月からまちづくり条例に係る 雨水流出抑制施設設置基準を更新します

海老名市住みよいまちづくり条例に基づく開発・建築行為の際に、**雨水浸透施設を設置する場合、浸透量に地下水位及び目づまりによる浸透量の低減を考慮する係数を乗ずる基準**となります。

協議番号がR9以降の事業が対象です

更新前

- ⑤ 処理量 T_i の算出
- [1] 雨水トレンチによる場合
 $T_1 = \text{浸透量} + \text{空隙量}$
 - [2] 浸透柵による場合
 $T_2 = \text{浸透量 (1.0m以内)} + \text{内容積}$
 - [3] 集水柵による場合
 $T_3 = \text{浸透量 (1.0m以内)} + \text{内容積}$
 - [4] 浸透型U字溝による場合
 $T_4 = \text{浸透量} + \text{内容量}$

更新後

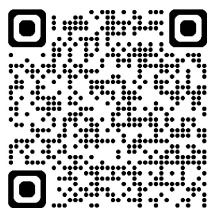
- ⑤ 処理量 T_i の算出
- [1] 雨水トレンチによる場合
 $T_1 = \text{浸透量} \times C_1 \times C_2 + \text{空隙量}$
 - [2] 浸透柵による場合
 $T_2 = \text{浸透量 (1.0m以内)} \times C_1 \times C_2 + \text{内容積}$
 - [3] 集水柵による場合
 $T_3 = \text{浸透量 (1.0m以内)} \times C_1 \times C_2 + \text{内容積}$
 - [4] 浸透型U字溝による場合
 $T_4 = \text{浸透量} \times C_1 \times C_2 + \text{内容量}$

- 地下水位の影響による低減係数 $C_1 = 0.90$
 - 目づまりの影響による低減係数 $C_2 = 0.90$
- $C_1 \times C_2 = 0.81$

計画雨水量 $Q <$ 処理量 T_i

浸透量に低減係数(0.81)を乗じて空隙量(内容量)を加えた処理量 T_i が、計画雨水量 Q を超えるように設計をしてください。

■海老名市HP「雨水流出抑制施設の設置について」はこちら
<https://www.city.ebina.kanagawa.jp/guide/sumai/gesui/1017803/1018041.html>



問い合わせ
海老名市まちづくり部下水道課業務係
Tel 046-235-9618 (直通)